施 工 状 況 報 告 書

【戸建住宅用　階数が4以上（地階を含む）】

ＮＩＣ確認検査株式会社　殿

建設住宅性能評価の申請を行うにあたり、施工状況報告書を提出します。
この施工状況報告書に記載する内容は、事実に相違ありません。

建築物の名称※	
建築物の所在地※	
工事施工者※	住所 氏名又は名称 電話 現場代理人

	検査対象工程	検査年月日	評価員の署名	施工(管理)者の署名
第１回目	基礎配筋工事の完了時			
第２回目	2階床躯体工事完了時			
第３回目	下地張りの直前の工事の完了時			
第４回目	屋根工事の完了時			
第５回目	竣工時			

［記入要領］

1.※印の付されている欄は、建設住宅性能評価の申請の際に申請者が記入してください。

2.「検査対象工程」、「検査年月日」、「評価員の署名」欄は、検査を行った評価員が検査終了後に記入してください。

3.「性能表示事項」欄の（　等級）には、設計住宅性能評価時の等級を申請者が記入してください。

4.「変更内容」、「関連図書」、「管理の時期」は、施工管理者が記入してください。

5.「確認内容」、「検査方法」、「判定結果」は、検査を行った評価員が記入してください。

施 工 状 況 報 告 書 【戸建住宅】

検査方法 ― A:実物の目視 B:実物の計測 C:施工関連図書の確認

【戸建住宅・4階以上】

※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※ 変更内容	関連図書	管理の時期 1	2	3	4	5	施工状況確認欄 確認内容	検査方法 A	B	C	判定結果及び指摘事項の記録 [一次]	[二次]
1 構造の安定に関すること【必須項目(1-2,4,5除く)】														
1-1、1-2 □耐震等級 (等級)	部材の品質	□有	□		□	□			□部材の品質	□			適・不	適・不
1-3 □その他 (免震建築物)	土台・柱等	□有	□		□	□			□柱の小径	□	□		適・不	適・不
			□		□	□			□土台の継手位置	□		□	適・不	適・不
1-4 耐風等級 (等級)			□	□	□	□			□ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄの品質	□		□	適・不	適・不
1-5 耐積雪等級 (等級) □該当なし			□	□	□	□			□ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄの埋込み長さ	□	□	□	適・不	適・不
			□	□	□	□			□ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄの位置	□	□	□	適・不	適・不
	耐力壁(1)(筋かいの場合)	□有	□		□	□			□筋かい耐力壁の位置・長さ	□	□		適・不	適・不
			□		□	□			□筋かい耐力壁の種類・断面	□	□		適・不	適・不
	耐力壁(2)(面材の場合)	□有	□		□	□	□	□	□面材耐力壁の位置・長さ	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□	□	□面材の種類・厚さ	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□	□	□釘の種類と面材の留め付け状態	□	□	□	適・不	適・不
	準耐力壁等	□有	□		□	□	□	□	□準耐力壁の位置・長さ	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□	□	□たれ壁・腰壁の位置・長さ	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□	□	□たれ壁・腰壁の幅と両隣の状況	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□	□	□面材の種類・厚さ	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□	□	□面材の高さ	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□	□	□釘の種類と留め付け状態	□	□	□	適・不	適・不
	床組等(1)	□有	□		□	□			□火打ちの位置・種類	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□			□火打ちと取り合うはり	□	□		適・不	適・不
			□		□	□			□火打ち材の留め付け状態	□	□		適・不	適・不

基1-①

施 工 状 況 報 告 書 【戸建住宅】

検査方法 － A:実物の目視 B:実物の計測 C:施工関連図書の確認
※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※							施工状況確認欄					
		変更内容	関連図書	管理の時期					確認内容	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
				1	2	3	4	5		A	B	C	[一次]	[二次]
1 構造の安定に関すること【必須項目(1-2,4,5除く)】														
1-1、1-2 □耐震等級 (等級)	床組等(2)	□有	□		□	□			□面材の種類・厚さ	□	□		適・不	適・不
1-3 □その他 (免震建築物)			□		□	□			□根太の寸法・間隔	□	□		適・不	適・不
			□		□	□			□根太の取付け工法	□			適・不	適・不
1-4 耐風等級 (等級)			□		□	□			□釘の種類と留め付け状態	□	□		適・不	適・不
1-5 耐積雪等級 (等級) □該当なし	屋根面	□有	□		□	□			□屋根勾配	□			適・不	適・不
			□		□	□			□面材の種類・厚さ	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□			□たる木の寸法・間隔	□	□		適・不	適・不
			□		□	□			□釘の種類と留め付け状態	□	□	□	適・不	適・不
	接合部	□有	□		□	□			□接合金物の品質	□		□	適・不	適・不
			□		□	□			□筋かい端部の接合部	□		□	適・不	適・不
			□		□	□			□柱脚・柱頭の接合部	□		□	適・不	適・不
			□		□	□			□床・屋根の接合部	□		□	適・不	適・不
			□		□	□			□胴差と通し柱の接合部	□		□	適・不	適・不
	横架材	□有	□		□	□			□床大ばり・床小ばり・小屋ばりの断面・間隔	□	□		適・不	適・不
			□		□	□			□胴差の断面	□	□		適・不	適・不
			□		□	□			□根太の断面・間隔	□	□		適・不	適・不
			□		□	□			□たる木の断面・間隔	□	□		適・不	適・不

基1-②

施 工 状 況 報 告 書 【戸建住宅】

検査方法 － A:実物の目視 B:実物の計測 C:施工関連図書の確認
※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※							施工状況確認欄						
		変更内容	関連図書	管理の時期					確認内容	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
				1	2	3	4	5		A	B	C	［一次］	［二次］
1 構造の安定に関すること【必須項目(1-2,4,5除く)】														
1-1、1-2 □耐震等級 （等級　）	基礎 1 (寸法・配筋)	□有	□	□					□基礎の配置	□	□		適・不	適・不
1-3 □その他 （免震 建築物）			□	□					□根入れ深さ	□	□		適・不	適・不
			□	□	□	□	□	□	□立上り部分の高さ	□	□		適・不	適・不
1-4 耐風等級 （等級　）			□	□	□	□			□立上り部分の厚さ	□	□		適・不	適・不
1-5 耐積雪 等級 （等級　） □該当なし			□	□					□基礎底盤の寸法	□	□	□	適・不	適・不
			□	□					□鉄筋の径・間隔等	□	□		適・不	適・不
			□	□					□開口周辺等の補強	□	□		適・不	適・不
	免震建築物 □該当なし	□有	□	□	□	□		□	□免震層	□	□	□	適・不	適・不
			□	□	□	□		□	□免震材料	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□		□	□上部構造	□	□	□	適・不	適・不
			□	□	□	□		□	□下部構造	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□		□	□落下・挟まれ防止等	□	□	□	適・不	適・不
			□					□	□表示	□			適・不	適・不
			□					□	□管理に関する計画			□	適・不	適・不
1-6 地盤又は 杭の許容 支持力等 及びその 設定方法	地盤	□有	□	□					□地盤の種類・ 支持力	□		□	適・不	適・不
	地業	□有	□ □	□					□地業の状態	□		□	適・不	適・不
1-7 基礎の構 造方法及 び形式等	基礎 2 （形式）	□有	□	□					□基礎の構造方法	□			適・不	適・不
			□	□					□基礎の形式	□			適・不	適・不

基1-③

施 工 状 況 報 告 書 【戸建住宅】

検査方法 － A:実物の目視 B:実物の計測 C:施工関連図書の確認
※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※							施工状況確認欄					
		変更内容	関連図書	管理の時期					確認内容	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
				1	2	3	4	5		A	B	C	［一次］	［二次］
2 火災時の安全に関すること(選択項目)														
2-1	感知警報	□有	□					□	□感知部分の	□			適・不	適・不
感知警報	装　　置								設置場所					
装置設置														
等級			□					□	□感知部分の	□			適・不	適・不
(等級　)									種別					
			□					□	□感知部分の	□	□		適・不	適・不
									取付け位置					
			□					□	□感知部分の			□	適・不	適・不
			□						感度等					
			□					□	□警報部分の	□			適・不	適・不
									設置場所					
			□					□	□警報部分の			□	適・不	適・不
			□						性能					
2-4	脱出対策	□有	□					□	□避難器具の	□			適・不	適・不
脱出対策	(地上階数								設置					
□該当なし	3以上)													
			□					□	□直通階段に直接通ず	□			適・不	適・不
									るバルコニーの有無					
2-5	開口部の	□有	□					□	□対象となる範囲	□			適・不	適・不
耐火等級	耐火性能													
〔開口部〕														
(等級　)			□					□	□開口部の	□		□	適・不	適・不
□該当なし									耐火性能					
2-6	外壁・軒裏	□有	□					□	□対象となる範囲	□			適・不	適・不
耐火等級	の構造													
〔開口部														
以外〕			□					□	□外壁の構造	□		□	適・不	適・不
(等級　)														
□該当なし														
			□					□	□軒裏の構造	□		□	適・不	適・不

基2

施 工 状 況 報 告 書 【戸建住宅】

検査方法 － A:実物の目視 B:実物の計測 C:施工関連図書の確認
※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※							施工状況確認欄					
		変更内容	関連図書	管理の時期					確認内容	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
				1	2	3	4	5		A	B	C	［一次］	［二次］
3 劣化の軽減に関すること【必須項目】														
3-1 劣化対策等級（等級 ）	地盤の防蟻	□有							(コンクリートによる場合)					
			□		□	□			□コンクリートの打設範囲	□			適・不	適・不
									(土壌処理等による場合)					
			□	□	□	□			□土壌処理の材料	□		□	適・不	適・不
			□	□	□	□			□土壌処理の状態	□		□	適・不	適・不
									(防蟻シートによる場合)					
			□	□	□	□			□防蟻シートの材料	□		□	適・不	適・不
			□	□	□	□			□防蟻シートの措置状態	□		□	適・不	適・不
	基礎高さ	□有	□		□	□	□	□	□基礎高さ	□	□		適・不	適・不
	床下防湿措置	□有							(コンクリートによる場合)					
			□		□	□			□コンクリートの打設範囲	□			適・不	適・不
			□		□	□			□コンクリートの厚さ			□	適・不	適・不
									(防湿フィルム等による場合)					
			□		□	□			□防湿フィルム等の種類	□		□	適・不	適・不
			□		□	□			□防湿フィルム等の措置状態	□			適・不	適・不
	床下換気措置	□有							(基礎開口による場合)					
			□		□	□			□基礎開口の位置	□	□		適・不	適・不
			□		□	□			□基礎開口の大きさ	□	□		適・不	適・不
									(ねこ土台による場合)					
			□		□	□			□ねこ土台の寸法・形状	□	□		適・不	適・不
			□		□	□			□ねこ土台の位置	□			適・不	適・不
	土台の防腐・防蟻	□有	□		□	□			□土台と外壁の取合い部の水切り	□			適・不	適・不
									(部材の樹種による場合)					
			□		□	□			□部材の樹種	□			適・不	適・不
									(保存処理による場合)					
			□		□	□			□保存処理の方法			□	適・不	適・不

基3

施 工 状 況 報 告 書 【戸建住宅】

検査方法 － A:実物の目視 B:実物の計測 C:施工関連図書の確認
※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※							施工状況確認欄					
		変更内容	関連図書	管理の時期					確認内容	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
				1	2	3	4	5		A	B	C	［一次］	［二次］
3 劣化の軽減に関すること【必須項目】														
3-1 劣化対策等級（等級 ）	外壁の軸組等	□有	□		□	□	□		□通気構造等の状態	□		□	適・不	適・不
			□		□	□			□保存処理の方法			□	適・不	適・不
			□		□	□			□保存処理の状態	□	□		適・不	適・不
			□		□	□			□部材の小径	□	□		適・不	適・不
			□		□	□			□部材の樹種	□			適・不	適・不
	小屋裏換気	□有	□				□	□	□給気口の位置・大きさ	□		□	適・不	適・不
							□	□	□排気口の位置・大きさ	□		□	適・不	適・不
	浴室・脱衣室の防水	□有	□				□	□	□浴室の防水措置	□		□	適・不	適・不
			□				□	□	□脱衣室の防水措置	□		□	適・不	適・不
4 維持管理・更新への配慮に関すること【必須項目】														
4-1 維持管理対策等級（等級 ）	専用配管	□有	□	□	□	□		□	□コンクリート内埋め込み配管	□			適・不	適・不
	地中埋設管	□有	□	□	□	□		□	□屋内の地中埋設管上のコンクリート	□			適・不	適・不
			□	□	□	□		□	□外周部の地中埋設管上のコンクリート	□			適・不	適・不
	専用排水管の性状等・清掃措置	□有	□				□	□	□排水管の仕様等、設置状態	□			適・不	適・不
			□					□	□排水管の掃除口	□			適・不	適・不
			□					□	□トラップの清掃措置	□			適・不	適・不
	配管点検口	□有	□					□	□開口の位置	□			適・不	適・不
			□					□	□開口と配管の関係	□			適・不	適・不

基3・4

施 工 状 況 報 告 書 【戸建住宅】

検査方法 － A:実物の目視 B:実物の計測 C:施工関連図書の確認
※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※							施工状況確認欄					
		変更内容	関連図書	管理の時期					確認内容	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
				1	2	3	4	5		A	B	C	［一次］	［二次］
5 温熱環境・エネルギー消費量に関すること【必須項目(※ 5-1又は、5-2のいずれかが必須項目となります。(両方の選択も可))】														
5-1 省エネルギー対策等級 （等級 ）	躯体の断熱性能等	□有	□		□	□	□		□断熱材の種類	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□床の断熱構造	□			適・不	適・不
			□		□	□	□		□土間床等の外周部の断熱構造	□		□	適・不	適・不
			□				□	□	□屋根又は天井の断熱構造	□		□	適・不	適・不
			□				□		□壁の断熱構造	□		□	適・不	適・不
	開口部の断熱性能等	□有	□納品書等				□	□	□窓等の熱貫流率又は仕様等	□		□	適・不	適・不
			□納品書等				□	□	□ドアの熱貫流率又は仕様等	□		□	適・不	適・不
	開口部の日射遮蔽措置	□有							(ひさし・軒等による場合)					
			□				□	□	□ひさし・軒等の状態	□	□		適・不	適・不
									(付属部材による場合)					
			□				□	□	□付属部材の設置状態	□		□	適・不	適・不
									(窓・ドアによる場合)					
			□納品書等				□	□	□窓・ドアの仕様	□		□	適・不	適・不
	躯体の結露防止	□有	□				□		□防湿層の設置	□		□	適・不	適・不
			□工事写真等		□	□	□		□屋根又は外壁の通気層設置	□		□	適・不	適・不

基5

施 工 状 況 報 告 書 【戸建住宅】

検査方法 － A:実物の目視 B:実物の計測 C:施工関連図書の確認
※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※							施工状況確認欄					
		変更内容	関連図書	管理の時期					確認内容	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
				1	2	3	4	5		A	B	C	[一次]	[二次]
6 空気環境に関すること(選択項目)														
6-1 ホルムアルデヒド対策 (内装及び天井裏等)	居室の内装仕上げ及び天井裏等の下地材等(使用建材)	□有	□					□	□製材等の有無	□			適・不	適・不
							□		□ 〃	□			適・不	適・不
						□			□ 〃	□			適・不	適・不
					□				□ 〃	□			適・不	適・不
								□	□特定建材の有無	□			適・不	適・不
							□		□ 〃	□			適・不	適・不
						□			□ 〃	□			適・不	適・不
					□				□ 〃	□			適・不	適・不
								□	□その他の建材の有無	□			適・不	適・不
							□		□ 〃	□			適・不	適・不
						□			□ 〃	□			適・不	適・不
					□				□ 〃	□			適・不	適・不
	居室の内装仕上げ (特定建材) (等級) □該当なし	□有	□					□	□材料の性能区分	□		□	適・不	適・不
			□				□		□ 〃	□		□	適・不	適・不
						□			□ 〃	□		□	適・不	適・不
			□		□				□ 〃	□		□	適・不	適・不
			□					□	□材料の使用範囲	□		□	適・不	適・不
							□		□ 〃	□		□	適・不	適・不
						□			□ 〃	□		□	適・不	適・不
					□				□ 〃	□		□	適・不	適・不
	天井裏等の下地材 (特定建材) (等級) □該当なし	□有	□					□	□材料の性能区分	□		□	適・不	適・不
			□				□		□ 〃	□		□	適・不	適・不
						□			□ 〃	□		□	適・不	適・不
			□		□				□ 〃	□		□	適・不	適・不
			□					□	□材料の使用範囲	□		□	適・不	適・不
							□		□ 〃	□		□	適・不	適・不
						□			□ 〃	□		□	適・不	適・不
					□				□ 〃	□		□	適・不	適・不
								□	□気密層又は通気止めによる措置	□		□	適・不	適・不
							□		□ 〃	□		□	適・不	適・不
						□			□ 〃	□		□	適・不	適・不
					□				□ 〃	□		□	適・不	適・不
								□	□換気設備による措置	□		□	適・不	適・不
							□		□ 〃	□		□	適・不	適・不
6-2 換気対策	居室の換気	□有	□				□	□	□機械換気設備の仕様	□		□	適・不	適・不
							□	□	□機械換気設備の位置	□		□	適・不	適・不
							□	□	□給排気口の位置等	□			適・不	適・不
								□	□建具の通気措置	□	□		適・不	適・不
	局所換気対策	□有	□					□	□便所の換気措置	□			適・不	適・不
								□	□浴室の換気措置	□			適・不	適・不
								□	□台所の換気措置	□			適・不	適・不

施 工 状 況 報 告 書 【戸建住宅】

検査方法 － A:実物の目視 B:実物の計測 C:施工関連図書の確認
※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※							施工状況確認欄					
		変更内容	関連図書	管理の時期					確認内容	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
				1	2	3	4	5		A	B	C	［一次］	［二次］
7 光・視環境に関すること(選択項目)														
7-1 単純開口率	開口部	□有	□				□	□	□開口部の形状等	□			適・不	適・不
			□				□	□	□開口部の大きさ	□	□		適・不	適・不
			□				□	□	□居室面積の変更の有無	□			適・不	適・不
7-2 方位別開口比	開口部	□有	□				□	□	□開口部の形状等	□			適・不	適・不
			□				□	□	□開口部の大きさ	□	□		適・不	適・不
8 音環境に関すること(選択項目)														
8-4 透過損失等級（等級 ）	開口部の遮音性能	□有	□				□	□	□開口部の遮音性能	□		□	適・不	適・不
			□				□	□	□開口部の設置状況	□			適・不	適・不
□選択 □否選択														
9 高齢者等への配慮に関すること(選択項目)														
9-1 高齢者等配慮対策等級（等級 ）	部屋の配置	□有	□					□	□日常生活空間の配置	□			適・不	適・不
			□					□	□ﾎｰﾑｴﾚﾍﾞｰﾀｰの設置	□	□		適・不	適・不
	段差	□有	□					□	□玄関出入口の段差	□	□		適・不	適・不
			□					□	□玄関上りかまちの段差	□	□		適・不	適・不
			□				□	□	□浴室出入口の段差	□	□		適・不	適・不
			□				□	□	□バルコニー出入口の段差	□	□		適・不	適・不
			□					□	□居室の部分の床とその他の床の段差	□	□		適・不	適・不
			□					□	□その他の部分の段差	□			適・不	適・不
			□					□	□日常生活空間外の床の段差	□	□		適・不	適・不

共通7・8・9

施 工 状 況 報 告 書 【戸建住宅】

検査方法 － A:実物の目視 B:実物の計測 C:施工関連図書の確認
※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※							施工状況確認欄					
		変更内容	関連図書	管理の時期					確認内容	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
				1	2	3	4	5		A	B	C	［一次］	［二次］
9 高齢者等への配慮に関すること(選択項目)														
9-1 高齢者等配慮対策等級	階段	□有	□					□	□けあげ・踏面寸法	□	□		適・不	適・不
			□					□	□蹴込み寸法	□	□		適・不	適・不
			□					□	□回り階段の構成	□			適・不	適・不
			□					□	□平面形状	□			適・不	適・不
			□					□	□滑り止め	□			適・不	適・不
			□					□	□階段及びその踊場の幅員	□	□		適・不	適・不
	手すり	□有	□					□	□階段の手すり	□	□		適・不	適・不
			□					□	□便所の手すり	□			適・不	適・不
			□					□	□浴室の手すり	□			適・不	適・不
			□				□	□	□玄関の手すり	□		□	適・不	適・不
			□				□	□	□脱衣室の手すり	□		□	適・不	適・不
	手すり(転落防止のための手すり)	□有	□					□	□バルコニーの手すり	□	□		適・不	適・不
			□					□	□2階以上の窓の手すり	□	□		適・不	適・不
			□					□	□廊下及び階段の手すり	□	□		適・不	適・不
	通路・出入口の幅員	□有	□					□	□通路の幅員	□	□		適・不	適・不
			□					□	□玄関出入口の幅員	□	□		適・不	適・不
			□					□	□浴室出入口の幅員	□	□		適・不	適・不
			□					□	□他の出入口の幅員	□	□		適・不	適・不
	寝室・便所・浴室の広さ	□有	□					□	□特定寝室の広さ	□	□		適・不	適・不
			□					□	□便所の広さ	□	□		適・不	適・不
			□					□	□浴室の広さ	□	□		適・不	適・不

共通9

施 工 状 況 報 告 書【戸建住宅】

検査方法 － A:実物の目視 B:実物の計測 C:施工関連図書の確認
※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※ 変更内容	関連図書	管理の時期 1	2	3	4	5	施工状況確認欄 確認内容	検査方法 A	B	C	判定結果及び指摘事項の記録 ［一次］	［二次］
10 防犯に関すること(選択項目)														
10-1 開口部の侵入防止対策 （　　階）	評価対象外の開口部	□有	□					□	□開口部の大きさ	□	□	□	適・不	適・不
	開口部の区分 (a、b、c)	□有	□					□	□開口部の区分 (a、b、c)	□	□	□	適・不	適・不
	住戸の出入口 (区分a) □対策あり □雨戸等 □その他 □該当なし	□有	□					□	□戸・ガラスの性能	□		□	適・不	適・不
									・施工状態					
								□	□錠の数・性能・仕様	□		□		
									・施工状態					
			□					□	□雨戸等の性能	□		□		
									・施工状態					
	外部からの接近が比較的容易な開口部 (区分b) □対策あり □雨戸等 □その他 □該当なし	【開閉機構あり】												
		□有	□					□	□サッシの性能	□		□	適・不	適・不
									・施工状態					
								□	□ガラスの性能	□		□		
									・施工状態					
			□					□	□戸・ガラスの性能	□		□		
									・施工状態					
								□	□錠の数・性能・仕様	□		□		
									・施工状態					
			□					□	□雨戸等の性能	□		□		
									・施工状態					
		【開閉機構なし】												
		□有	□					□	□ガラスの性能	□		□		
									・施工状態					
			□					□	□雨戸等の性能	□		□		
									・施工状態					
	a及びbに掲げるもの以外のもの (区分c) □対策あり □雨戸等 □その他 □該当なし	【開閉機構あり】												
		□有	□					□	□サッシの性能	□		□	適・不	適・不
									・施工状態					
								□	□ガラスの性能	□		□		
									・施工状態					
			□					□	□戸・ガラスの性能	□		□		
									・施工状態					
								□	□錠の数・性能・仕様	□		□		
									・施工状態					
			□					□	□雨戸等の性能	□		□		
									・施工状態					
		【開閉機構なし】												
		□有	□					□	□ガラスの性能	□		□		
									・施工状態					
			□					□	□雨戸等の性能	□		□		
									・施工状態					

※対策あり…すべての開口部が侵入防止対策上有効な措置の講じられた開口部である
雨戸等…雨戸又はシャッターによってのみ対策が講じられている開口部が含まれる
その他…対策が講じられていない開口部が1箇所以上ある
該当なし…該当する開口部なし

施 工 状 況 報 告 書 【戸建住宅】

認1　No. 1（2･3は無し）

検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認

【戸建住宅･4階以上】　※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※							施工状況確認欄					
		変更内容	関連図書	管理の時期					確認内容	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
				1	2	3	4	5		A	B	C	［一次］	［二次］
1 構造の安定に関すること【必須項目(1-2,4,5除く)】														
1-1、1-2	構造躯体	□有							□工事監理報告書				適･不	適･不
□耐震等級	(認証)								型式住宅部分等製造者等認証番号					
（等級　）									･耐震等級					
1-3									P□□-□□-010-□-□□-□-□-□□□□□-□□					
□その他									･耐震等級					
（免震									P□□-□□-020-□-□□-□-□-□□□□□-□□					
建築物)									･耐風等級					
1-4									P□□-□□-030-□-□□-□-□-□□□□□-□□					
耐風等級									･耐積雪等級					
（等級　）									P□□-□□-040-□-□□-□-□-□□□□□-□□					
1-5	基礎　1	□有	□	□					□基礎の配置	□	□		適･不	適･不
耐積雪	(寸法･配筋)													
等級														
（等級　）			□	□					□根入れ深さ	□	□		適･不	適･不
□該当なし														
			□	□	□	□	□	□	□立上り部分の高さ	□	□		適･不	適･不
			□	□	□	□			□立上り部分の厚さ	□	□		適･不	適･不
			□	□					□基礎底盤の寸法	□	□	□	適･不	適･不
			□	□					□鉄筋の径･間隔等	□	□		適･不	適･不
			□	□					□開口周辺等の補強	□	□		適･不	適･不
1-6	地盤	□有	□	□					□地盤の種類･	□		□	適･不	適･不
地盤又は									支持力					
杭の許容														
支持力等	地業	□有	□	□					□地業の状態	□		□	適･不	適･不
及びその			□											
設定方法														
1-7	基礎　2	□有	□	□					□基礎の構造方法	□			適･不	適･不
基礎の構	(形式)													
造方法及														
び形式等			□	□					□基礎の形式	□			適･不	適･不

施 工 状 況 報 告 書 【戸建住宅】

認2　No.4

検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認

※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※							施工状況確認欄					
		変更内容	関連図書	管理の時期					確認内容	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
				1	2	3	4	5		A	B	C	一次	二次
2 火災時の安全に関すること(選択項目)														
2-1 感知警報装置設置等級 (等級　)	感知警報装　置	□有	□					□	□感知部分の	□			適・不	適・不
									設置場所					
			□					□	□感知部分の	□			適・不	適・不
									種別					
			□					□	□感知部分の	□	□		適・不	適・不
									取付け位置					
			□					□	□感知部分の			□	適・不	適・不
			□						感度等					
			□					□	□警報部分の	□			適・不	適・不
									設置場所					
			□					□	□警報部分の			□	適・不	適・不
			□						性能					
2-4 脱出対策 □該当なし	脱出対策 (地上階数3以上)	□有	□					□	□避難器具の	□			適・不	適・不
									設置					
			□					□	□直通階段に直接通ず	□			適・不	適・不
									るバルコニーの有無					
2-5 耐火等級〔開口部〕 (等級　) □該当なし	開口部の耐火性能	□有	□					□	□対象となる範囲	□			適・不	適・不
			□					□	□開口部の	□		□	適・不	適・不
									耐火性能					
2-6 耐火等級〔開口部以外〕 (等級　) □該当なし	外壁・軒裏の構造 (認証)	□有							□工事監理報告書				適・不	適・不
									型式住宅部分等製造者等認証番号					
									・耐火等級					
									P□□-□□-120-□-□□-□-□□□□□□					

施 工 状 況 報 告 書 【戸建住宅】

忍3・4・5　No.5（6・7は無し）

検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認

※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※							施工状況確認欄					
		変更内容	関連図書	管理の時期					確認内容	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
				1	2	3	4	5		A	B	C	一次	二次
3 劣化の軽減に関すること【必須項目】														
3-1 劣化対策等級（等級　）	地盤の防蟻	□有							(コンクリートによる場合)					
			□			□			□コンクリートの	□			適・不	適・不
									打設範囲					
									(土壌処理等による場合)					
			□	□	□	□			□土壌処理の材料	□		□	適・不	適・不
			□	□	□	□			□土壌処理の状態	□		□	適・不	適・不
									(防蟻シートによる場合)					
			□	□	□	□			□防蟻シートの材料	□		□	適・不	適・不
			□	□	□	□			□防蟻シートの	□		□	適・不	適・不
									措置状態					
	基礎高さ	□有	□		□	□	□	□	□基礎高さ	□	□		適・不	適・不
	構造躯体等(認証)	□有							□工事監理報告書					
									型式住宅部分等製造者認証番号				適・不	適・不
									・劣化対策等級					
									P□□-□□-140-□-□□-□-□□□□□□					
4 維持管理・更新への配慮に関すること【必須項目】														
4-1 維持管理対策等級（等級　）	専用配管	□有	□	□	□	□		□	□コンクリート内	□			適・不	適・不
									埋め込み配管					
	地中埋設管	□有	□	□	□	□		□	□屋内の地中埋設管	□			適・不	適・不
									上のコンクリート					
			□	□	□	□		□	□外周部の地中埋設	□			適・不	適・不
									管上のコンクリート					
	専用排水管の性状等・清掃措置	□有	□				□	□	□排水管の仕様等、	□			適・不	適・不
									設置状態					
			□					□	□排水管の掃除口	□			適・不	適・不
			□					□	□トラップの清掃措置	□			適・不	適・不
	配管点検口	□有	□					□	□開口の位置	□			適・不	適・不
			□					□	□開口と配管の関係	□			適・不	適・不
5 温熱環境・エネルギー消費量に関すること【必須項目(※ 5-1又は、5-2のいずれかが必須項目となります。(両方の選択も可))**】**														
5-1 省エネルギー対策等級(等級　）	躯体・開口部の断熱性能等	□有							□工事監理報告書				適・不	適・不
									型式住宅部分等製造者認証番号					
									・省エネルギー対策等級					
									P□□-□□-170-□-□□-□-□-□□□□□-□□					

施 工 状 況 報 告 書 【戸建住宅】

認3･4　No.5（6は無し）

検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認

※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※							施工状況確認欄					
		変更内容	関連図書	管理の時期					確認内容	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
				1	2	3	4	5		A	B	C	一次	二次
3 劣化の軽減に関すること【必須項目】														
3-1 劣化対策等級（等級　）	地盤の防蟻	□有							(コンクリートによる場合)					
			□		□	□			□コンクリートの	□			適・不	適・不
									打設範囲					
									(土壌処理等による場合)					
			□	□	□	□			□土壌処理の材料	□		□	適・不	適・不
			□	□	□	□			□土壌処理の状態	□		□	適・不	適・不
									(防蟻シートによる場合)					
			□	□	□	□			□防蟻シートの材料	□		□	適・不	適・不
			□	□	□	□			□防蟻シートの	□		□	適・不	適・不
									措置状態					
	基礎高さ	□有	□		□	□	□	□	□基礎高さ	□	□		適・不	適・不
	構造躯体等(認証)	□有							□工事監理報告書					
									型式住宅部分等製造者認証番号				適・不	適・不
									・劣化対策等級					
									P□□-□□-140-□-□□-□-□□□□□□					
4 維持管理・更新への配慮に関すること【必須項目】														
4-1 維持管理対策等級（等級　）	専用配管	□有	□	□	□	□		□	□コンクリート内	□			適・不	適・不
									埋め込み配管					
	地中埋設管	□有	□	□	□	□		□	□屋内の地中埋設管	□			適・不	適・不
									上のコンクリート					
			□	□	□	□		□	□外周部の地中埋設	□			適・不	適・不
									管上のコンクリート					
	専用排水管の性状等・清掃措置	□有	□				□	□	□排水管の仕様等、	□			適・不	適・不
									設置状態					
			□					□	□排水管の掃除口	□			適・不	適・不
			□					□	□トラップの清掃措置	□			適・不	適・不
	配管点検口	□有	□					□	□開口の位置	□			適・不	適・不
			□					□	□開口と配管の関係	□			適・不	適・不

施 工 状 況 報 告 書 【戸建住宅】

認4･5　No.6（7は無し）

検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認

※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※							施工状況確認欄					
		変更内容	関連図書	管理の時期					確認内容	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
				1	2	3	4	5		A	B	C	一次	二次
3 劣化の軽減に関すること【必須項目】														
3-1 劣化対策等級（等級　）	外壁の軸組等	□有	□		□	□	□		□通気構造等の状態	□		□	適・不	適・不
			□		□	□			□保存処理の方法			□	適・不	適・不
			□		□	□			□保存処理の状態	□	□		適・不	適・不
			□		□	□			□部材の小径	□	□		適・不	適・不
			□		□	□			□部材の樹種	□			適・不	適・不
	小屋裏換気	□有	□				□	□	□給気口の位置・大きさ	□		□	適・不	適・不
							□	□	□排気口の位置・大きさ	□		□	適・不	適・不
	浴室・脱衣室の防水	□有	□				□	□	□浴室の防水措置	□		□	適・不	適・不
			□				□	□	□脱衣室の防水措置	□		□	適・不	適・不
4 維持管理・更新への配慮に関すること【必須項目】														
4-1 維持管理対策等級（等級　）	専用配管	□有	□	□	□	□		□	□コンクリート内埋め込み配管	□			適・不	適・不
	地中埋設管	□有	□	□	□	□		□	□屋内の地中埋設管上のコンクリート	□			適・不	適・不
			□	□	□	□		□	□外周部の地中埋設管上のコンクリート	□			適・不	適・不
	専用排水管の性状等・清掃措置	□有	□				□	□	□排水管の仕様等、設置状態	□			適・不	適・不
			□					□	□排水管の掃除口	□			適・不	適・不
			□					□	□トラップの清掃措置	□			適・不	適・不
	配管点検口	□有	□					□	□開口の位置	□			適・不	適・不
			□					□	□開口と配管の関係	□			適・不	適・不
5 温熱環境・エネルギー消費量に関すること【必須項目(※ 5-1又は、5-2のいずれかが必須項目となります。(両方の選択も可))**】**														
5-1 断熱等性能等級（等級　）	躯体・開口部の断熱性能等	□有							□工事監理報告書 型式住宅部分等製造者認証番号 ・省エネルギー対策等級 P□□-□□-170-□-□□-□-□-□□□□□-□□				適・不	適・不

施 工 状 況 報 告 書【枠組壁工法住宅】

枠基1-①　No. 1

検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認

【戸建住宅・4階以上】　※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※							施工状況確認欄					
		変更内容	関連図書	管理の時期					確認内容	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
				1	2	3	4	5		A	B	C	［一次］	［二次］
1 構造の安定に関すること【必須項目(1-2,4,5除く)】														
1-1、1-2 □耐震等級 （等級　）	土台・枠組	□有	□		□	□			□土台の品質	□		□	適・不	適・不
1-3 □その他 （免震建築物）			□		□	□			□土台の継手 金物位置	□		□	適・不	適・不
			□		□	□			□枠組材の寸法・形式	□	□	□	適・不	適・不
1-4 耐風等級 （等級　）			□		□	□			□枠組材の品質	□		□	適・不	適・不
1-5 耐積雪等級 （等級　） □該当なし			□		□	□			□枠組材の間隔	□	□	□	適・不	適・不
			□	□	□	□			□ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄの品質	□		□	適・不	適・不
			□	□	□	□			□ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄの 埋込み長さ	□	□	□	適・不	適・不
			□	□	□	□			□ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄの位置	□	□	□	適・不	適・不
	耐力壁 【面材による場合】	□有	□		□	□	□		□耐力壁の位置	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□耐力壁の長さ	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□面材の種類、厚さ	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□面材の高さ	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□釘の種類・間隔	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□面材の留付状態	□		□	適・不	適・不
	耐力壁 【筋かい併用による場合】	□有	□		□	□	□		□耐力壁の位置	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□耐力壁の長さ	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□筋かいの架構方向	□		□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□筋かいの断面寸法	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□筋かいの留付状態	□		□	適・不	適・不

施 工 状 況 報 告 書【枠組壁工法住宅】

枠基1-②　No.2

検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認

※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※							施工状況確認欄					
		変更内容	関連図書	管理の時期					確認内容	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
				1	2	3	4	5		A	B	C	一次	二次
1 構造の安定に関すること【必須項目(1-2,4,5除く)】														
1-1、1-2 □耐震等級 （等級　）	準耐力壁	□有	□		□	□	□		□準耐力壁の位置	□	□	□	適・不	適・不
1-3 □その他 （免震建築物）			□		□	□	□		□準耐力壁の長さ	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□面材の種類、厚さ	□	□	□	適・不	適・不
1-4 耐風等級 （等級　）			□		□	□	□		□面材の高さ	□	□	□	適・不	適・不
1-5 耐積雪等級 （等級　） □該当なし			□		□	□	□		□釘の種類・間隔	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□面材の留付状態	□		□	適・不	適・不
	床組等	□有	□		□	□			□面材の種類、厚さ	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□			□釘の種類・間隔	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□			□面材の留付状態	□		□	適・不	適・不
	屋根面	□有	□		□	□			□屋根勾配	□	□		適・不	適・不
			□		□	□			□面材の種類・厚さ	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□			□釘の種類・間隔	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□			□面材の留付状態	□		□	適・不	適・不
	接合金物	□有	□		□	□			□接合金物の品質	□		□	適・不	適・不
			□		□	□			□接合金物の種類	□		□	適・不	適・不
			□		□	□			□2 階外周出隅部の留付状態	□		□	適・不	適・不
			□		□	□			□2 階外周一般部の留付状態	□		□	適・不	適・不
			□		□	□			□1 階外周出隅部の留付状態	□		□	適・不	適・不
			□		□	□			□1 階外周一般部の留付状態	□		□	適・不	適・不

施 工 状 況 報 告 書【枠組壁工法住宅】

枠基1-③　No.3

検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認

※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※							施工状況確認欄					
		変更内容	関連図書	管理の時期					確認内容	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
				1	2	3	4	5		A	B	C	一次	二次
1 構造の安定に関すること【必須項目(1-2,4,5除く)】														
1-1、1-2 □耐震等級 (等級　)	基礎　1 (寸法・配筋)	□有	□	□					□基礎の配置	□	□		適・不	適・不
1-3 □その他 (免震 建築物)			□	□					□根入れ深さ	□	□		適・不	適・不
			□	□	□	□	□	□	□立上り部分の高さ	□	□		適・不	適・不
1-4 耐風等級 (等級　)			□	□	□	□			□立上り部分の厚さ	□	□		適・不	適・不
1-5 耐積雪 等級 (等級　) □該当なし			□	□					□基礎底盤の寸法	□	□	□	適・不	適・不
			□	□					□鉄筋の径・間隔等	□	□		適・不	適・不
			□	□					□開口周辺 等の補強	□	□		適・不	適・不
	免震建築物 □該当なし	□有	□	□	□	□		□	□免震層	□	□	□	適・不	適・不
			□	□	□	□		□	□免震材料	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□		□	□上部構造	□	□	□	適・不	適・不
			□	□	□	□		□	□下部構造	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□		□	□落下・挟まれ防止等	□	□	□	適・不	適・不
			□					□	□表示	□			適・不	適・不
			□					□	□管理に関する計画			□	適・不	適・不
1-6 地盤又は 杭の許容 支持力等 及びその 設定方法	地盤	□有	□	□					□地盤の種類・ 支持力	□		□	適・不	適・不
	地業	□有	□ □	□					□地業の状態	□		□	適・不	適・不
1-7 基礎の構造方法及び形式等	基礎　2 (形式)	□有	□	□					□基礎の構造方法	□			適・不	適・不
			□	□					□基礎の形式	□			適・不	適・不

施 工 状 況 報 告 書 【鉄骨造住宅】

S1-①　No. 1

【戸建住宅・4階以上】　　検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認

※　基礎・1階部分　その1　　※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※ 変更内容	関連図書	管理の時期 1	2	3	4	5	施工状況確認欄 確認内容	検査方法 A	B	C	判定結果及び指摘事項の記録 ［一次］	［二次］
1 構造の安定に関すること【必須項目(1-2,4,5除く)】														
1-1、1-2	地盤	□有	□	□					□支持地盤の種類・	□		□	適・不	適・不
□耐震等級									支持力					
（等級　）	直接基礎	□有	□	□					□床付面の確認	□		□	適・不	適・不
1-3	□該当なし													
□その他			□	□					□地盤改良状態	□		□	適・不	適・不
（免震														
建築物）			□	□	□	□			□基礎位置形状、	□	□	□	適・不	適・不
1-4									寸法					
耐風等級			□	□					□鉄筋の種類	□	□	□	適・不	適・不
（等級　）														
			□	□	□	□			□フーチングの位置	□	□	□	適・不	適・不
1-5									・形状					
耐積雪			□	□	□	□			□かぶり厚さ	□	□	□	適・不	適・不
等級														
（等級　）	既成杭	□有	□	□					□工法（　　）	□		□	適・不	適・不
□該当なし	□該当なし													
			□	□					□杭の種別・規格	□		□	適・不	適・不
並びに														
基礎方法			□	□					□杭径・杭長	□	□	□	適・不	適・不
及び形式									・継ぎ杭構成					
			□	□					□継ぎ手の施工状況	□		□	適・不	適・不
			□	□					□配置	□	□	□	適・不	適・不
			□	□					□芯ずれの場合の	□		□	適・不	適・不
									補強方法					
			□	□					□杭頭レベル	□		□	適・不	適・不
			□	□					□杭頭補強筋	□		□	適・不	適・不
			□	□	□	□			□フーチングの位置	□	□	□	適・不	適・不
									・形状					
	場所打杭	□有	□	□					□工法（　　）	□		□	適・不	適・不
	□該当なし													
			□	□					□杭径・杭長	□	□	□	適・不	適・不
			□	□					□配置	□	□	□	適・不	適・不
			□	□					□鉄筋の種類	□		□	適・不	適・不
			□	□					□配筋の径・本数	□		□	適・不	適・不
									・ピッチ					
			□	□					□コンクリートの種類	□		□	適・不	適・不
			□	□					□かぶり厚さ	□		□	適・不	適・不
			□	□					□杭頭レベル	□		□	適・不	適・不
			□	□					□杭頭処理状況	□		□	適・不	適・不
			□	□	□	□			□フーチングの位置	□	□	□	適・不	適・不
									・形状					

施 工 状 況 報 告 書 【鉄骨造住宅】

S1-②　No.2

検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認

※ 基礎・1階部分 その2

※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※ 変更内容	関連図書	管理の時期 1	2	3	4	5	施工状況確認欄 確認内容	検査方法 A	B	C	判定結果及び指摘事項の記録 [一次]	[二次]
1 構造の安定に関すること【必須項目(1-2,4,5除く)】														
1-1、1-2 □耐震等級 (等級　)	構造躯体 地中梁 基礎	□有	□	□	□	□			□床付面の確認	□		□	適・不	適・不
1-3 □その他 (免震建築物)			□	□					□地中梁・フーチング位置	□		□	適・不	適・不
1-4 耐風等級 (等級　)			□	□					□鉄筋の種類	□	□	□	適・不	適・不
1-5 耐積雪等級 (等級　) □該当なし			□	□					□鉄筋の径・本数・ピッチ	□	□	□	適・不	適・不
並びに基礎方法及び形式			□	□					□継手の方法・定着	□	□	□	適・不	適・不
			□	□	□	□			□ガス圧接引張強度試験	□		□	適・不	適・不
			□	□	□	□			□コンクリートの種類	□		□	適・不	適・不
			□	□	□	□			□かぶり厚さ	□	□	□	適・不	適・不
			□	□	□	□			□貫通口・開口部補強	□		□	適・不	適・不
	構造躯体 小梁基礎	□有	□	□					□床付面の確認	□		□	適・不	適・不
			□	□	□	□			□小梁位置	□	□	□	適・不	適・不
			□	□					□鉄筋の種類	□	□	□	適・不	適・不
			□	□					□鉄筋の径・本数・ピッチ	□	□	□	適・不	適・不
			□	□					□継手の方法・定着	□	□	□	適・不	適・不
			□	□	□	□			□コンクリートの種類	□		□	適・不	適・不
			□	□	□	□			□かぶり厚さ	□	□	□	適・不	適・不
			□	□	□	□			□貫通口・開口部補強	□		□	適・不	適・不
	躯体 土間コンクリート	□有	□		□	□	□		□床付面の確認	□		□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□地盤地業の状態	□		□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□鉄筋の種類	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□鉄筋の径・本数・ピッチ	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□継手の方法・定着	□	□	□	適・不	適・不
			□	□	□	□	□		□コンクリートの種類	□		□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□かぶり厚さ	□	□	□	適・不	適・不
	柱脚部	□有	□		□	□			□アンカーボルト、材料、品質、形状、寸法	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□			□位置・長さ	□	□	□	適・不	適・不
	柱部	□有	□		□	□	□		□形状、寸法	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□位置	□	□	□	適・不	適・不

施 工 状 況 報 告 書【鉄骨造住宅】

S1-③　No.3

検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認

※ 基礎・1階・その他階部分他　　※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※ 変更内容	関連図書	管理の時期 1	2	3	4	5	施工状況確認欄 確認内容	検査方法 A	B	C	判定結果及び指摘事項の記録 [一次]	[二次]
1 構造の安定に関すること【必須項目(1-2,4,5除く)】														
1-1、1-2 □耐震等級 (等級　)	壁　部	□有	□		□	□	□		□形状、寸法	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□位置	□	□	□	適・不	適・不
1-3 □その他 (免震建築物)	梁　部	□有	□		□	□	□		□形状、寸法	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□位置	□	□	□	適・不	適・不
1-4 耐風等級 (等級　)	床	□有	□		□	□	□		□形状、寸法	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□位置	□	□	□	適・不	適・不
1-5 耐積雪等級 (等級　) □該当なし	階　段　部	□有	□		□	□	□		□形状、寸法	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□位置	□	□	□	適・不	適・不
並びに基礎方法及び形式	ブレース部	□有	□		□	□	□		□形状、寸法	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□位置	□	□	□	適・不	適・不
	ボルト接合部	□有	□		□	□	□		□種別、品質、径、本数	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□締め付け状態	□		□	適・不	適・不
	床、スラブ接合部	□有	□		□	□	□		□構造形式	□		□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□種別、品質、径、本数	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□溶接方法、管理方法	□		□	適・不	適・不
	現場溶接部	□有	□		□	□	□		□溶接方法、管理法	□		□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□溶接接合部の品質	□		□	適・不	適・不
	工場溶接部	□有	□		□	□	□		□溶接方法、管理法	□		□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□溶接接合部の品質	□		□	適・不	適・不
	免震建築物 □該当なし	□有	□	□	□	□		□	□免震層	□	□	□	適・不	適・不
			□	□	□	□		□	□免震材料	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□		□	□上部構造	□	□	□	適・不	適・不
			□	□	□	□		□	□下部構造	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□		□	□落下・挟まれ防止等	□	□	□	適・不	適・不
			□					□	□表示	□			適・不	適・不
			□					□	□管理に関する計画			□	適・不	適・不

施 工 状 況 報 告 書 【鉄骨造住宅】

S3　No.5

検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認

※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※							施工状況確認欄						
		変更内容	関連図書	管理の時期					確認内容	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
				1	2	3	4	5		A	B	C	［一次］	［二次］
3 劣化の軽減に関すること【必須項目】														
3-1 劣化対策等級（等級　）	床下防湿措置	□有							(コンクリートによる場合)					
			□		□	□			□コンクリートの打設範囲	□			適・不	適・不
			□		□	□			□コンクリートの厚さ			□	適・不	適・不
									(防湿フィルム等による場合)					
			□		□	□			□防湿フィルム等の	□		□	適・不	適・不
									種類					
			□		□	□			□防湿フィルム等の	□			適・不	適・不
									措置状態					
	床下換気措置	□有							(基礎開口による場合)					
			□		□	□			□基礎開口の位置	□	□		適・不	適・不
			□		□	□			□基礎開口の大きさ	□	□		適・不	適・不
									(ねこ土台による場合)					
			□		□	□			□ねこ土台の	□	□		適・不	適・不
									寸法・形状					
			□		□	□			□ねこ土台の位置	□			適・不	適・不
	構造躯体(最下階の柱脚部)	□有	□		□	□	□		□鋼材の厚さ	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□防錆措置	□		□	適・不	適・不
			□		□	□			□コンクリートへの	□		□	適・不	適・不
									埋込み					
	構造躯体(一般部)	□有	□		□	□	□		□鋼材の厚さ	□	□	□	適・不	適・不
			□		□	□	□		□防錆措置	□		□	適・不	適・不
	構造躯体(その他の構造躯体)	□有	□		□	□	□		□防錆措置	□		□	適・不	適・不
	小屋裏換気	□有	□				□	□	□給気口の位置	□		□	適・不	適・不
									・大きさ					
							□	□	□排気口の位置	□		□	適・不	適・不
									・大きさ					

施 工 状 況 報 告 書 【鉄骨造住宅】

S4　No.6

検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認

※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検 査 項 目	施工状況報告欄※							施工状況確認欄					
		変更内容	関連図書	管理の時期					確認内容	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
				1	2	3	4	5		A	B	C	［一次］	［二次］
4 維持管理・更新への配慮に関すること【必須項目】														
4-1 維持管理対策等級（等級　）	専用配管	□有	□	□	□	□		□	□コンクリート内埋め込み配管	□			適・不	適・不
	地中埋設管	□有	□	□	□	□		□	□屋内の地中埋設管上のコンクリート	□			適・不	適・不
			□	□	□	□		□	□外周部の地中埋設管上のコンクリート	□			適・不	適・不
	専用排水管の性状等・清掃措置	□有	□				□	□	□排水管の仕様等、設置状態	□			適・不	適・不
			□					□	□排水管の掃除口	□			適・不	適・不
			□					□	□トラップの清掃措置	□			適・不	適・不
	配管点検口	□有	□					□	□開口の位置	□			適・不	適・不
			□					□	□開口と配管の関係	□			適・不	適・不

施 工 状 況 報 告 書 【RC･WRC造住宅】

RC1-①　No. 1

【戸建住宅･4階以上】　　検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認

※ 基礎 その1　　※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※ 変更内容	関連図書	管理の時期 1	2	3	4	5	施工状況確認欄 確認内容	検査方法 A	B	C	判定結果及び指摘事項の記録 ［一次］	［二次］
1 構造の安定に関すること【必須項目(1-2,4,5除く)】														
1-1、1-2	地盤	□有	□	□					□支持地盤の種類	□		□	適･不	適･不
□耐震等級									･支持力					
(等級　)	直接基礎	□有	□	□					□床付面の確認	□		□	適･不	適･不
1-3	□該当なし													
□その他			□	□					□地盤改良状態	□		□	適･不	適･不
(免震														
建築物)			□	□	□	□			□基礎位置形状、	□	□	□	適･不	適･不
1-4									寸法					
耐風等級			□	□					□鉄筋の種類	□	□	□	適･不	適･不
(等級　)														
			□	□	□	□			□フーチングの位置	□	□	□	適･不	適･不
1-5									･形状					
耐積雪			□	□	□	□			□かぶり厚さ	□	□	□	適･不	適･不
等級														
(等級　)	既成杭	□有	□	□					□工法(　　)	□		□	適･不	適･不
□該当なし	□該当なし													
			□	□					□杭の種別･規格	□		□	適･不	適･不
並びに														
基礎方法			□	□					□杭径･杭長	□	□	□	適･不	適･不
及び形式									･継ぎ杭構成					
			□	□					□継ぎ手の施工状況	□		□	適･不	適･不
			□	□					□配置	□	□	□	適･不	適･不
			□	□					□芯ずれの場合の	□		□	適･不	適･不
									補強方法					
			□	□					□杭頭レベル	□		□	適･不	適･不
			□	□					□杭頭補強筋	□		□	適･不	適･不
			□	□	□	□			□フーチングの位置	□	□	□	適･不	適･不
									･形状					
	場所打杭	□有	□	□					□工法(　　)	□		□	適･不	適･不
	□該当なし													
			□	□					□杭径･杭長	□	□	□	適･不	適･不
			□	□					□配置	□	□	□	適･不	適･不
			□	□					□鉄筋の種類	□		□	適･不	適･不
			□	□					□配筋の径･本数	□		□	適･不	適･不
									･ピッチ					
			□	□					□コンクリートの種類	□		□	適･不	適･不
			□	□					□かぶり厚さ	□		□	適･不	適･不
			□	□					□杭頭レベル	□		□	適･不	適･不
			□	□					□杭頭処理状況	□		□	適･不	適･不
			□	□	p	□			□フーチングの位置	□	□	□	適･不	適･不
									･形状					

施 工 状 況 報 告 書 【RC･WRC造住宅】

RC1-②　No. 2

検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認

※ 地下･1･2･3･4 階の各階部分 その1　　※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※ 変更内容	関連図書	管理の時期 1	2	3	4	5	施工状況確認欄 確認内容	検査方法 A	B	C	判定結果及び指摘事項の記録 ［一次］	［二次］
1 構造の安定に関すること【必須項目(1-2,4,5除く)】														
1-1、1-2 □耐震等級（等級　）	構造躯体 地中梁 基礎	□有	□	□	□	□			□床付面の確認	□		□	適･不	適･不
			□	□					□地中梁･フーチング位置	□	□	□	適･不	適･不
1-3 □その他（免震建築物）			□	□					□鉄筋の種類	□	□	□	適･不	適･不
			□	□					□鉄筋の径･本数･ピッチ	□	□	□	適･不	適･不
1-4 耐風等級（等級　）			□	□					□継手の方法･定着	□	□	□	適･不	適･不
			□	□	□	□			□ガス圧接引張強度試験	□		□	適･不	適･不
1-5 耐積雪等級（等級　） □該当なし			□	□	□	□			□コンクリートの種類	□		□	適･不	適･不
			□	□	□	□			□かぶり厚さ	□	□	□	適･不	適･不
並びに基礎方法及び形式			□	□	□	□			□貫通口･開口部補強	□		□	適･不	適･不
	構造躯体 小梁基礎	□有	□	□					□床付面の確認	□		□	適･不	適･不
			□	□	□	□			□小梁位置	□		□	適･不	適･不
			□	□					□鉄筋の種類	□	□	□	適･不	適･不
			□	□					□鉄筋の径･本数･ピッチ	□	□	□	適･不	適･不
			□	□					□継手の方法･定着	□	□	□	適･不	適･不
			□	□	□	□			□コンクリートの種類	□		□	適･不	適･不
			□	□	□	□			□かぶり厚さ	□	□	□	適･不	適･不
			□	□	□	□			□貫通口･開口部補強	□		□	適･不	適･不
	躯体 土間コンクリート	□有	□		□	□	□		□床付面の確認	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□		□地盤地業の状態	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□		□鉄筋の種類	□	□	□	適･不	適･不
			□		□	□	□		□鉄筋の径･本数･ピッチ	□	□	□	適･不	適･不
			□		□	□	□		□継手の方法･定着	□	□	□	適･不	適･不
			□	□	□	□	□		□コンクリートの種類	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□		□かぶり厚さ	□	□	□	適･不	適･不
	躯体 柱	□有	□		□	□	□		□位置、寸法	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□		□ボリューム(W×H)	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□		□配筋（径、本数、配置）	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□		□定着（継手、フック）	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□		□かぶり厚さ	□		□	適･不	適･不

施 工 状 況 報 告 書 【RC･WRC造住宅】

RC1-③　No.3

検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認

※　2階部分･中間階部分他　その2　　※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※ 変更内容	関連図書	管理の時期 1	2	3	4	5	施工状況確認欄 確認内容	検査方法 A	B	C	判定結果及び指摘事項の記録 ［一次］	［二次］
1 構造の安定に関すること【必須項目(1-2,4,5除く)】														
1-1、1-2 □耐震等級 (等級　)	躯体 梁	□有	□		□	□	□		□位置、寸法	□		□	適･不	適･不
1-3 □その他 (免震建築物)			□		□	□	□		□ボリューム(W×H)	□		□	適･不	適･不
1-4 耐風等級 (等級　)			□		□	□	□		□配筋 (径、本数、配置)	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□		□定着 (継手、フック)	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□		□貫通口･開口部補強	□		□	適･不	適･不
1-5 耐積雪等級 (等級　) □該当なし 並びに基礎方法及び形式			□		□	□	□		□かぶり厚さ	□		□	適･不	適･不
	躯体 スラブ	□有	□		□	□	□		□厚み	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□		□配筋 (径、本数、配置)	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□		□定着 (継手、フック)	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□		□かぶり厚さ	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□		□貫通口･開口部補強	□		□	適･不	適･不
	躯体 壁	□有	□		□	□	□		□厚み	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□		□配筋 (径、本数、配置)	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□		□定着 (継手、フック)	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□		□かぶり厚さ	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□		□貫通口･開口部補強	□		□	適･不	適･不
	躯体 階段	□有	□		□	□	□		□位置、寸法	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□		□配筋 (径、本数、配置)	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□		□定着 (継手、フック)	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□		□かぶり厚さ	□		□	適･不	適･不
	免震建築物 □該当なし	□有	□	□	□	□		□	□免震層	□	□	□	適･不	適･不
			□	□	□	□		□	□免震材料	□	□	□	適･不	適･不
			□		□	□		□	□上部構造	□	□	□	適･不	適･不
			□	□	□	□		□	□下部構造	□	□	□	適･不	適･不
			□		□	□		□	□落下･挟まれ防止等	□	□	□	適･不	適･不
			□					□	□表示	□			適･不	適･不
			□					□	□管理に関する計画			□	適･不	適･不

施 工 状 況 報 告 書 【RC･WRC造住宅】

RC3･4　No.5(6は無し)

検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認

※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※								施工状況確認欄					
		変更内容	関連図書	管理の時期						確認内容	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
				1	2	3	4	5			A	B	C	［一次］	［二次］
3 劣化の軽減に関すること【必須項目】															
3-1 劣化対策等級（等級　）	セメントの種類	□有	□		□	□	□			□セメントの種類	□		□	適･不	適･不
	外壁の仕上材	□有	□		□	□	□	□		□外壁の仕上材	□		□	適･不	適･不
	コンクリートの水セメント比等	□有	□		□	□	□			□かぶり厚さ（スペーサー）	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□			□コンクリートの種類	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□			□水セメント比	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□			□コンクリートの強度	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□			□単位水量	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□			□スランプ	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□			□空気量	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□			□塩分測定	□		□	適･不	適･不
	施工計画	□有	□		□	□	□			□打込方法			□	適･不	適･不
			□		□	□	□			□締固め方法			□	適･不	適･不
			□		□	□	□			□打継ぎ部の処理方法	□		□	適･不	適･不
			□		□	□	□			□養生方法			□	適･不	適･不
4 維持管理･更新への配慮に関すること【必須項目】															
4-1 維持管理対策等級（等級　）	専用配管	□有	□	□	□	□		□		□コンクリート内埋め込み配管	□			適･不	適･不
	地中埋設管	□有	□	□	□	□		□		□屋内の地中埋設管上のコンクリート	□			適･不	適･不
			□	□	□	□		□		□外周部の地中埋設管上のコンクリート	□			適･不	適･不
	専用排水管の性状等･清掃措置	□有	□				□	□		□排水管の仕様等、設置状態	□			適･不	適･不
			□					□		□排水管の掃除口	□			適･不	適･不
			□					□		□トラップの清掃措置	□			適･不	適･不
	配管点検口	□有	□					□		□開口の位置	□			適･不	適･不
			□					□		□開口と配管の関係	□			適･不	適･不

施 工 状 況 報 告 書【併用住宅　住戸】

検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認
※の欄を施工管理者が記入のこと

【戸建住宅】

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※						施工状況確認欄						
		変更内容	関連図書	管理の時期				確認内容	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
				1	2	3	4		A	B	C	［一次］	［二次］
5 温熱環境・エネルギー消費量に関すること【必須項目(※ 5-1又は、5-2のいずれかが必須項目となります。(両方の選択も可))】													
5-2 一次エネルギー消費量等級 【等級　　】	居室及び非居室の面積	□ 有	□ □			□	□	□ 居室及び非居室の面積	□	□		適・不	適・不
	躯体の断熱性能等	□ 有	□ 納品書 □ 出荷証明書 □ 工事写真 □ カタログ □ 梱包材 □		□	□		□ 床の断熱断面構成	□	□	□	適・不	適・不
				□	□	□		□ 土間床等の断熱、断面構成	□	□	□		
					□	□	□	□ 屋根又は天井の断熱、断面構成	□	□	□		
					□	□		□ 外壁の断熱、断面構成	□	□	□		
	開口部の断熱性能等	□ 有	□ 納品書 □ 出荷証明書 □ カタログ □ 梱包材 □ 窓ラベル □ 試験報告書等 □			□	□	□ 窓等の熱貫流率、仕様等	□		□	適・不	適・不
						□	□	□ ドアの熱貫流率、仕様等	□		□		
	開口部の日射遮蔽措置	□ 有	□ 納品書 □ 出荷証明書 □ 工事写真 □ カタログ □ 梱包材 □ 窓ラベル □ 試験報告書等 □			□	□	□ ひさし・軒等の状態	□	□	□	適・不	適・不
						□	□	□ 付属部材の設置状態	□		□		
						□	□	□ 窓の日射侵入率、仕様等	□		□		
	自然風の利用	□ 有	□ □			□	□	□ 開口部の位置・種類等	□	□		適・不	適・不
	蓄熱の利用	□ 有	□ 工事写真 □ 納品書 □ カタログ □ 梱包材 □			□	□	□ 材料の種類	□		□	適・不	適・不
						□	□	□ 蓄熱部位の範囲	□	□	□		
	暖房設備	□ 有	□ 工事写真 □ 取扱説明書 □ 納品書 □ カタログ □			□	□	□ 暖房設備の種類	□		□	適・不	適・不
						□	□	□ 暖房設備の設置位置	□	□	□		
						□	□	□ 暖房設備の性能	□		□		
					□	□	□	□ 床暖房の敷設範囲・性能等	□	□	□		
					□	□	□	□ 温水配管の断熱措置(温水式暖房の場合)	□		□		
	冷房設備	□ 有	□ 工事写真 □ 取扱説明書 □ 納品書 □ カタログ □			□	□	□ 冷房設備の種類	□		□	適・不	適・不
						□	□	□ 冷房設備の設置位置	□		□		
						□	□	□ 冷房設備の性能	□		□		
	換気設備	□ 有	□ 工事写真 □ 取扱説明書 □ 納品書 □ カタログ □			□	□	□ 換気設備の種類	□		□	適・不	適・不
						□	□	□ 換気設備の設置位置	□		□		
						□	□	□ 換気設備の性能	□		□		

施 工 状 況 報 告 書【併用住宅　住戸】

検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認

5 温熱環境・エネルギー消費量に関すること【必須項目(※ 5-1又は、5-2のいずれかが必須項目となります。(両方の選択も可))**】**　※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※						施工状況確認欄					
		変更内容	関連図書	管理の時期				確認内容	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
				1	2	3	4		A	B	C	［一次］	［二次］
5-2 一次エネルギー消費量等級 【等級　　】	給湯設備	□ 有	□ 工事写真 □ 取扱説明書 □ 納品書 □ カタログ □				□	□ 熱源機の種類	□		□	適・不	適・不
							□	□ 熱源機の性能	□		□		
						□	□	□ 配管の方式・仕様	□	□	□		
							□	□ 水栓の仕様	□		□		
						□	□	□ 浴槽の仕様 (高断熱浴槽の場合)	□		□		
							□	□ 太陽熱給湯設備の種類	□		□		
							□	□ 集熱部の仕様	□		□		
							□	□ 貯湯タンクの容量 (ソーラーシステムの場合)	□		□		
	照明設備	□ 有	□ 工事写真 □ 取扱説明書 □ 納品書 □ カタログ □				□	□ 照明設備の設置位置	□		□	適・不	適・不
							□	□ 照明機器の種類	□		□		
							□	□ 調光・人感センサー等の仕様	□		□		
	発電設備	□ 有	□ 工事写真 □ 取扱説明書 □ 納品書 □ カタログ □				□	□ 太陽電池の種類	□		□	適・不	適・不
							□	□ 太陽電池アレイの設置方法・位置	□		□		
							□	□ コージェネレーションの種類	□		□		

施 工 状 況 報 告 書【併用住宅　住戸】

検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認
※の欄を施工管理者が記入のこと

【戸建住宅】

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※ 変更内容	関連図書	管理の時期 1	2	3	4	施工状況確認欄 確認内容	検査方法 A	B	C	判定結果及び指摘事項の記録 ［一次］	［二次］
5 温熱環境・エネルギー消費量に関すること【必須項目(※ 5-1又は、5-2のいずれかが必須項目となります。(両方の選択も可))】													
5-2 一次エネルギー消費量等級 【等級　　】	居室及び非居室の面積	□ 有	□ □			□	□	□ 居室及び非居室の面積	□	□		適・不	適・不
	躯体の断熱性能等	□ 有	□ 納品書 □ 出荷証明書 □ 工事写真 □ カタログ □ 梱包材 □		□	□		□ 床の断熱断面構成	□	□	□	適・不	適・不
				□	□	□		□ 土間床等の断熱、断面構成	□	□	□		
					□	□	□	□ 屋根又は天井の断熱、断面構成	□	□	□		
					□	□		□ 外壁の断熱、断面構成	□	□	□		
	開口部の断熱性能等	□ 有	□ 納品書 □ 出荷証明書 □ カタログ □ 梱包材 □ 窓ラベル □ 試験報告書等 □			□	□	□ 窓等の熱貫流率、仕様等	□		□	適・不	適・不
						□	□	□ ドアの熱貫流率、仕様等	□		□		
	開口部の日射遮蔽措置	□ 有	□ 納品書 □ 出荷証明書 □ 工事写真 □ カタログ □ 梱包材 □ 窓ラベル □ 試験報告書等 □			□	□	□ ひさし・軒等の状態	□	□	□	適・不	適・不
						□	□	□ 付属部材の設置状態	□		□		
						□	□	□ 窓の日射侵入率、仕様等	□		□		
	構造熱橋部対策	□ 有	□ 納品書 □ 工事写真 □ 試験報告書等 □			□		□ 断熱材の種類・範囲	□	□	□	適・不	適・不
	自然風の利用	□ 有	□ □			□	□	□ 開口部の位置・種類等	□	□		適・不	適・不
	蓄熱の利用	□ 有	□ 工事写真 □ 納品書 □ カタログ □ 梱包材 □			□	□	□ 材料の種類	□		□	適・不	適・不
						□	□	□ 蓄熱部位の範囲	□	□	□		
	暖房設備	□ 有	□ 工事写真 □ 取扱説明書 □ 納品書 □ カタログ □			□	□	□ 暖房設備の種類	□		□	適・不	適・不
						□	□	□ 暖房設備の設置位置	□	□	□		
						□	□	□ 暖房設備の性能	□		□		
					□	□	□	□ 床暖房の敷設範囲・性能等	□	□	□		
					□	□	□	□ 温水配管の断熱措置(温水式暖房の場合)	□		□		
	冷房設備	□ 有	□ 工事写真 □ 取扱説明書 □ 納品書 □ カタログ □			□	□	□ 冷房設備の種類	□		□	適・不	適・不
						□	□	□ 冷房設備の設置位置	□		□		
						□	□	□ 冷房設備の性能	□		□		
	換気設備	□ 有	□ 工事写真 □ 取扱説明書 □ 納品書 □ カタログ □			□	□	□ 換気設備の種類	□		□	適・不	適・不
						□	□	□ 換気設備の設置位置	□		□		
						□	□	□ 換気設備の性能	□		□		

施 工 状 況 報 告 書【併用住宅　住戸】

検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認

5 温熱環境・エネルギー消費量に関すること【必須項目(※ 5-1又は、5-2のいずれかが必須項目となります。(両方の選択も可))**】**　※の欄を施工管理者が記入のこと

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※						施工状況確認欄					
		変更内容	関連図書	管理の時期				確認内容	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
				1	2	3	4		A	B	C	［一次］	［二次］
5-2 一次エネルギー消費量等級 【等級　　】	給湯設備	□ 有	□ 工事写真 □ 取扱説明書 □ 納品書 □ カタログ □				□	□ 熱源機の種類	□		□	適・不	適・不
							□	□ 熱源機の性能	□		□		
						□	□	□ 配管の方式・仕様	□	□	□		
							□	□ 水栓の仕様	□		□		
						□	□	□ 浴槽の仕様 (高断熱浴槽の場合)	□		□		
							□	□ 太陽熱給湯設備の種類	□		□		
							□	□ 集熱部の仕様	□		□		
							□	□ 貯湯タンクの容量 (ソーラーシステムの場合)	□		□		
	照明設備	□ 有	□ 工事写真 □ 取扱説明書 □ 納品書 □ カタログ □				□	□ 照明設備の設置位置	□		□	適・不	適・不
							□	□ 照明機器の種類	□		□		
							□	□ 調光・人感センサー等の仕様	□		□		
	発電設備	□ 有	□ 工事写真 □ 取扱説明書 □ 納品書 □ カタログ □				□	□ 太陽電池の種類	□		□	適・不	適・不
							□	□ 太陽電池アレイの設置方法・位置	□		□		
							□	□ コージェネレーションの種類	□		□		

施 工 状 況 報 告 書【併用住宅　住戸】

検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認
※の欄を施工管理者が記入のこと

【戸建住宅】

性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※						施工状況確認欄					
		変更内容	関連図書	管理の時期				確認内容	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
				1	2	3	4		A	B	C	［一次］	［二次］
5 温熱環境・エネルギー消費量に関すること【必須項目(※ 5-1又は、5-2のいずれかが必須項目となります。(両方の選択も可))】													
5-2 一次エネルギー消費量等級 【等級　　】	外皮・設備の性能	□有			□	□	□	□ 工事監理報告書 型式住宅部分等製造者認証番号 ・一次エネルギー消費量等級				適・不	適・不

施 工 状 況 報 告 書【特定測定物質の測定】

共通10　No.11

建物名称	

6　空気環境に関すること(選択項目)　　※の欄を施工管理者が記入のこと

	性能表示事項	測定記録欄 項目	採取条件等※		
空気環境に関する事	**採取条件等※**	内装工事完了日時	年　月　日（造付け家具の取付けその他これに類する工事を含む）		
		開口部開放日時	年　月　日	時　分	□全ての窓及び扉（造付家具、押入れその他これらに類するものの扉を含む）を30分開放
		開口部閉鎖日時	年　月　日	時　分	
		居室の閉鎖及び維持	□上記の後、外気に面する窓及び扉を5時間以上閉鎖		
		24時間換気設備の運転状況	□稼動　□否稼動　□無し	□24時間換気設備付属の給排気口の開放	
			運転状況：		
		冷暖房設備の運転状況	□稼動　□否稼動　□無し	設定温度　℃	
			運転状況：		

	性能表示事項	測定記録欄 項目	採取条件及び濃度等		
空気環境に関する事	**特定測定物質の濃度等**	採取開始日時・天候	年　月　日	時　分	天候（　）
		採取終了日時・天候	年　月　日	時　分	天候（　）
		採取した居室の名称			
		居室選定条件	□測定の対象となる特定測定物質の濃度が相対的に高くなることが見込まれる居室において行われている（日照が多い等）		
			□その他：		
		評価員の氏名			
		測定器具の名称	□パッシブ測定器方式（バッジ式）　□その他		
		採取中の室温・湿度	採取中の　□室温　□平均室温	℃	
			採取中の　□相対湿度　□平均相対湿度	%	
		採取中の開口部の状況	□外気に面する窓及び扉を閉鎖		
		採取中の日照の状況等			
		24時間連続運転の、全般換気のための設備	□品確法の全般換気設備　□品確法外の全般換気設備　□全般換気設備無し		
			□稼動　□否稼動	全般換気設備に係る給排気口の　□開放　□閉鎖	
			運転状況：		
		冷暖房設備の運転状況	□稼動　□否稼動　□無し	設定温度　℃	
			運転状況：		
		採取位置	□当該居室の中央付近		
			□床からの高さ　1.2～1.5m		
		特定化学物質の名称及び濃度	特定測定物質の名称		特定化学物質の濃度（ppm）最高値 ： 最低値
			必須	■ホルムアルデヒド	：
			選択（測定の対象となるもの）	□トルエン	：
				□キシレン	：
				□エチルベンゼン	：
				□スチレン	：
		分析した者の氏名又は名称			
		その他特定化学物質の濃度に関する特徴的な条件			